

# 分散化案のメリット、デメリットと、今後の対応

## 【メリット】

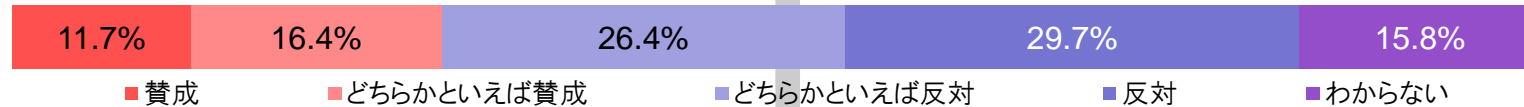
- 新規旅行需要創出効果 = 2.8兆円(春・秋)
- 観光地の混雑緩和
- 旅行料金の低廉化
- 地域経済の活性化
- 環境負荷の低減
- 観光産業における生産性・サービス向上、雇用安定化
- 家族旅行の機会増加による教育効果

## 【デメリット】

- 企業活動への影響(シフト勤務や休日出勤による人件費・労務管理コストの上昇、在庫の増加、ブロック間取引への影響等)
- 資金決済への影響(中小企業の資金繰り、市場の公平性等)
- 全国一斉の休日でないといえなくなる懸念
- 学校行事への影響
- 親子や遠方の親族・友人の休みの不一致
- 祝日の意義の低下

## 国民の意識

現在提案中の分散化案に対し、**賛成28.1%**、**反対56.1%**。



### 賛成の理由

- 高速道路・交通機関や観光地の混雑が緩和する(72.3%)
- 休みを取りやすくなる(48.2%)
- 経済活動が活性化する(42.5%)
- 宿泊施設の料金が低下する(25.4%)
- 新たに秋の大型連休ができる(16.4%)

### 反対の理由

- 家族・親類や知人と休みがあわなくなる(54.2%)
- 全国一斉でないとかえって休めなくなる(44.3%)
- 現行の制度になれている(34.9%)
- 経済活動に影響が出る(29.6%)
- 祝日が「休日ではない記念日」になることに抵抗がある(26.0%)
- 5週にわたって分散化されることに抵抗がある(23.8%)
- 5ブロックという分け方に抵抗がある(23.7%)
- 大型連休が年2回あるより、3連休がたくさんある方がいい(17.3%)

メリットを活かしつつ、デメリットを最小化するような案の見直し

# 【参考】現在提示している分散化案における課題と対応案

## 【課題】

## 【対応案】

企業活動

- 企業のサプライチェーンや本支店間連絡への影響
- 取引先等の休業日以外休めず、逆に休みが減少する恐れ

- 資金決済への影響

- 官公庁の手続きが必要な場合

学校

- 全国大会・地方大会、学校行事等への影響

家族・友人

- ふるさとの家族や友人、単身赴任の親と家族との休みがあわなくなる懸念
- 親子の休みがあわなくなる懸念

祝日の意義

- 祝日の意義を失わせる恐れ

- 企業の休日は労使協議を尊重
- 取引先企業への配慮、シフト勤務、計画的な在庫調整などの工夫を呼びかける。
- 先進事例を紹介し、ノウハウを共有。
- 更なる有給休暇取得促進策の実施
- 金融機関等は決済機能の継続のため、必要な体制構築。
- 公的機関の休日は所在地の休日にあわせ、必要な業務はシフト勤務で対応。
- 行事開催スケジュールを調整できるように、十分な周知・準備期間を設ける。
- 左記に該当する従業員が有休を取得できるよう、企業に協力を依頼。
- 祝日の意義を学習する機会の設定や、地域や関係者による記念行事を促進する。